



# 入賞



「春の花かご」  
黒瀬 恵子

春のよろこびを花かごにしてみました。

「門出」

石川 嘉子

娘家族(5人)の新たな出発を祝して、家族が幸せになれる様に、心を込めてバスケットに春の花を作りました。



「花衣」

本田 敦子

やんわりと明るい春の日差しを浴びて、軽やかに衣裳を着替えて出掛けたい、そんな春の装いをイメージしました。



「爽春」

田中 美智子

白い冬から目覚め、植物達が少しずつ春めいていく様を表現しました。



「安らぎ」

空閑 桂子

東日本大震災で被災された方への思い、復興への願いを白でまとめてみました。  
3月8日に作成しましたので、管理が大変でした。



## ハンギングバスケットコンテスト

平成24年4月7日～4月15日

於 福岡市役所 西側ふれあい広場

# 大賞

「花鳥風月」

松原 紀子

春の静かな美しい風景を、ハンギングバスケットに表現しました。





# 最優秀賞

「春の彩り」  
花田 尚子

のどかで心安らく春のイメージをやさしい花色とカラーリーフで表現しました。



# 優秀賞

「ありがとう ～大切なあなたへ～」  
吉岡 由美子

花を植える楽しさ、咲いた時の喜びを私に教えてくれた大切な祖母が天国へと旅立って行きました。

そんな祖母へ「ありがとう」と感謝の気持ちを込めた作品です。



はなえ  
「花笑み」  
石井 康子

「花笑み」とは、花が咲くこと、また咲いた花のような笑顔を表し、万葉の時代から使われている言葉です。

福岡のまちに花と緑があふれ、皆元気になり、笑顔を日本中につなぎたいと願う作品です。



# 特別賞

「春爛漫」  
池田 絹枝

寒い中から春の訪れを待ちかねたような陽気に目ざめた花達です。



「元気モリモリ」  
松原 篤史

ビタミンたっぷり、元気がでる「おいしい」ハンギングバスケットを作りました。



「彩 いろどり」  
吉原 春造

英国で生まれたハンギングバスケットという手法に日本らしさを表現してみたいと考えました。

## 審査委員長をつとめていただいた林緒利江氏からコメントを頂いております

昨年に引き続き審査に伺うことが出来ましたこと、感謝いたしております。

昨年にもまして個々の作品レベルの高さにただただ感心と感動の審査でした。ご参加全ての方々に「素晴らしいで賞」をお付けしたいくらいです。

中でも特に、受賞されました作品は、植え込み技術に優れ、斬新でビビットな色の組み合わせ、パステルカラーの組み合わせ等、目を見張る思いで審査させて頂きました。

また、花の座（背中の飾り）も折角の作品を邪魔することの多い中、個々の個性で作品を引き立て素晴らしいものとなっていました。

ハンギングバスケットの素晴らしさをインパクト強くアピールしていただき感謝いたします。